



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月6日

上場会社名 株式会社アーケ 上場取引所 東  
 コード番号 7873 URL http://www.arrk.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金 太浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 白石 泰基 TEL 06-6260-1040  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	32,216	0.7	932	△18.6	895	7.7	688	25.4
29年3月期第3四半期	31,999	△8.6	1,144	△35.9	831	△50.4	548	△44.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,544百万円 (ー%) 29年3月期第3四半期 △1,644百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	1.93	1.71
29年3月期第3四半期	1.54	1.36

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	45,655	29,742	65.1	58.47
29年3月期	42,944	28,192	65.6	53.82

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 29,742百万円 29年3月期 28,192百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
30年3月期	ー	0.00	ー		
30年3月期 (予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	1.4	2,200	19.7	1,850	10.6	1,100	△19.1	3.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期3Q	338,657,431株	29年3月期	338,657,431株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	6,345,866株	29年3月期	6,393,766株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期3Q	332,291,943株	29年3月期3Q	332,255,430株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前記に記載した業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、業況の変化等により、前記の業績予想とは大きく異なることがありうることをご承知ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済情勢を見ますと、欧米では、雇用環境の改善と個人消費の回復が続いたこともあり景気は回復基調を辿りました。国内では、景気回復は力強さを欠きながらも緩やかに持ち直しました。新興国においても、東南アジアなどにおいて内需や輸出が好調に推移するなど、景気は総じて底堅く推移しました。

このような状況のもと、欧州において開発・試作事業、金型事業、小ロット生産事業は堅調に推移しましたが、ドイツにおいてエンジニアリング事業の収益性が悪化したこと、国内において主要顧客の開発が減少したことにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は32,216百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は932百万円(前年同期比18.6%減)となりました。一方、営業外損益において為替差損7百万円(前年同期は為替差損285百万円)を計上したことにより、経常利益は895百万円(前年同期比7.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は688百万円(前年同期比25.4%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第3四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ① 欧米地域事業

欧米地域事業におきましては、欧州の開発・試作事業、金型事業、小ロット生産事業が引き続き好調を維持しておりますが、ドイツのエンジニアリング事業においてはドイツ派遣法運用の変更により市場環境が変化したことと、一過性の費用が増加したことに加え、欧州大手自動車メーカーの不正問題により市場が大幅に縮小し、過度な価格競争により収益性が大幅に悪化いたしました。また、米国の金型事業、小ロット生産事業は低調に推移いたしました。これらの結果、売上高21,088百万円(前年同期比0.9%増)、営業利益214百万円(前年同期比64.6%減)となりました。

## ② 国内アジア地域事業

国内アジア地域事業におきましては、タイ、台湾、上海の開発・試作事業は現地自動車メーカーのモーターショー案件や日系自動車メーカーの開発案件があり好調に推移いたしましたが、国内の開発・試作事業においては主要顧客の開発案件の延期、中止により売上が減少いたしました。これらの結果、売上高12,853百万円(前年同期比2.7%減)、営業利益1,225百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は45,655百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,710百万円増加いたしました。

項目別では、流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,550百万円増加し、31,088百万円となりました。これは、現金及び預金が2,552百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ169百万円増加し、14,488百万円となりました。これは、有形固定資産が222百万円及び投資有価証券が47百万円増加したものの、その他の無形固定資産が105百万円減少したことによるものであります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、77百万円となりました。これは、社債発行費を償却したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1,160百万円増加し、15,912百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が431百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が123百万円、未払費用が128百万円、前受金が291百万円及び長期借入金が968百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,550百万円増加し、29,742百万円となりました。これは主に、利益剰余金が688百万円、その他有価証券評価差額金が31百万円、為替換算調整が828百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月9日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,866	14,418
受取手形及び売掛金	11,676	11,653
電子記録債権	1,117	1,025
商品及び製品	273	503
仕掛品	479	800
原材料及び貯蔵品	766	765
繰延税金資産	539	614
その他	2,041	1,500
貸倒引当金	△220	△191
流動資産合計	28,538	31,088
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,828	8,290
減価償却累計額	△3,976	△4,407
建物及び構築物(純額)	3,851	3,882
機械装置及び運搬具	10,655	11,287
減価償却累計額	△6,248	△6,950
機械装置及び運搬具(純額)	4,407	4,336
工具、器具及び備品	3,228	3,634
減価償却累計額	△2,272	△2,588
工具、器具及び備品(純額)	956	1,045
土地	2,527	2,543
建設仮勘定	138	296
有形固定資産合計	11,881	12,104
無形固定資産		
のれん	924	847
その他	668	562
無形固定資産合計	1,593	1,410
投資その他の資産		
投資有価証券	339	387
繰延税金資産	14	16
その他	490	570
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	844	973
固定資産合計	14,319	14,488
繰延資産		
社債発行費	87	77
繰延資産合計	87	77
資産合計	42,944	45,655

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,481	3,049
電子記録債務	—	92
1年内償還予定の社債	284	284
1年内返済予定の長期借入金	325	449
リース債務	136	81
未払金	893	834
未払法人税等	193	161
未払費用	834	963
前受金	2,172	2,464
繰延税金負債	14	11
賞与引当金	832	624
その他の引当金	31	21
その他	968	1,417
流動負債合計	10,168	10,454
固定負債		
社債	1,716	1,574
長期借入金	684	1,653
リース債務	481	439
繰延税金負債	1,214	1,250
再評価に係る繰延税金負債	12	12
株式給付引当金	11	10
その他の引当金	49	53
退職給付に係る負債	322	360
その他	91	103
固定負債合計	4,583	5,457
負債合計	14,752	15,912
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000	2,000
資本剰余金	11,658	11,658
利益剰余金	15,485	16,174
自己株式	△197	△192
株主資本合計	28,947	29,640
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	110
土地再評価差額金	△160	△160
為替換算調整勘定	△677	151
退職給付に係る調整累計額	3	0
その他の包括利益累計額合計	△754	102
純資産合計	28,192	29,742
負債純資産合計	42,944	45,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	31,999	32,216
売上原価	24,791	25,164
売上総利益	7,208	7,052
販売費及び一般管理費	6,063	6,120
営業利益	1,144	932
営業外収益		
受取利息	21	18
持分法による投資利益	7	—
貸倒引当金戻入額	9	47
その他	49	56
営業外収益合計	89	122
営業外費用		
支払利息	16	35
持分法による投資損失	—	1
社債発行費償却	—	9
為替差損	285	7
割増退職金	46	38
その他	53	66
営業外費用合計	402	159
経常利益	831	895
特別利益		
固定資産売却益	7	20
投資有価証券売却益	350	—
受取保険金	96	118
特別利益合計	455	138
特別損失		
固定資産除売却損	68	21
災害による損失	233	81
特別損失合計	301	102
税金等調整前四半期純利益	984	931
法人税、住民税及び事業税	344	281
法人税等調整額	91	△38
法人税等合計	436	243
四半期純利益	548	688
親会社株主に帰属する四半期純利益	548	688

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	548	688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	31
為替換算調整勘定	△2,172	825
退職給付に係る調整額	—	△2
持分法適用会社に対する持分相当額	△8	2
その他の包括利益合計	△2,193	856
四半期包括利益	△1,644	1,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,644	1,544

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	欧米地域	国内アジア地域	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,792	11,207	31,999	—	31,999
セグメント間の内部 売上高又は振替高	106	2,005	2,111	△2,111	—
計	20,898	13,212	34,111	△2,111	31,999
セグメント利益	604	994	1,599	△454	1,144

(注) 1. セグメント利益の調整額△454百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△456百万円、セグメント間取引消去による発生額1百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書計上額 (注) 2
	欧米地域	国内アジア地域	計		
売上高					
外部顧客への売上高	21,000	11,216	32,216	—	32,216
セグメント間の内部 売上高又は振替高	87	1,637	1,725	△1,725	—
計	21,088	12,853	33,942	△1,725	32,216
セグメント利益	214	1,225	1,440	△508	932

(注) 1. セグメント利益の調整額△508百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△516百万円、セグメント間取引消去による発生額8百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの区分方法の変更

地域毎に異なる市場ニーズに適時適切に対応するため、当社グループは地域別事業本部制を導入することといたしました。これに伴い、当社グループの業績管理体制についても見直しを行っており、当第3四半期連結会計期間より従来「オートモーティブ」、「エンジニアリング」、「コンシューマー」の3区分としておりました報告セグメントを「欧米地域」、「国内アジア地域」の2区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、当該変更を反映したものを表示しております。